

Kurilon Workshop News

クリロンワークショップ便り
No.29 2018年8月

No.
29



蔡國華:6月の鐘/ラトビア



—Information—

響
Hibiki

蔡國華 作品
H i b i k i



特別展示
一般社団法人
軽井沢朗読館

軽井沢朗読館にて蔡國華作品「Hibiki」を展示いたします。期間中に開催されるイベントともコラボレーションする新しい試みです。是非お立ち寄りください。

開催期間

8月 14(火)・15(水)・16(木)・17(金)

22(水)・23(木)・24(金)・25(土)

9月 5(水)・6(木)・9(日)・12(水)・13(木)・16(日)

開館時間 11:00~16:00

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉千ヶ滝6056-1
(セゾン現代美術館より1.5キロ)

予告なくスケジュールが
変更になることもございます。
HPにてご確認ください。

karuizawaroudokukan.jp



(デザイン:画空間 豊島 愛)

ユーザーの声をフィルムに表現する
クリロン化成株式会社
<http://www.kurilon.co.jp/>

心が豊かであるために・・・
KURILON Workshop
<http://www.kurilon.co.jp/company/workshop/>

画空間 Art Space
<http://www.a-kukan.com/>

2018年度 QCDOC開催



▶各チームが発表

2018年7月14日に、岡山でQCDOC発表会が行われました。

本発表会は、QCDOCとOC (Organizational Culture) 企業文化の観点から、仕事の仕方や意識の改善のための取り組みについて発表する場となっています。

今回は、各工場・加工会社・営業所などから11チームが参加しましたが、どのチームも主体的に日々の問題の解消や業務の改善について取り組んでおり、一人一人に企業文化が浸透していることを感じました。



▶質疑応答も

また、ロールプレイング形式や動画の使用など、各々工夫を凝らした発表で、チームの個性を表すとともに、観客を引き込むようなものが並び、「甲乙つけがたく、賞が足りない!」と審査員の方々は、発表が盛り上がりまで議論されました。

従来は製造部門と人材部から選ばれていた実行委員も、今回は各部署から選出され、幅広い意見を取り入れながら運営することができました。発表内容だけでなく、運営方法も洗練していけるよう、今回の反省を次に活かして参りたいと思います。

技術開発課 岡田 彩乃

▼入念にミーティング



画空間 豊島 亜貴子

今回、KWSは審査員賞をいただくことができましたが、クリロン化成の様々な技術と取り組みを体験できたこの機会を、今後の活動に繋げていきたいと思っています。



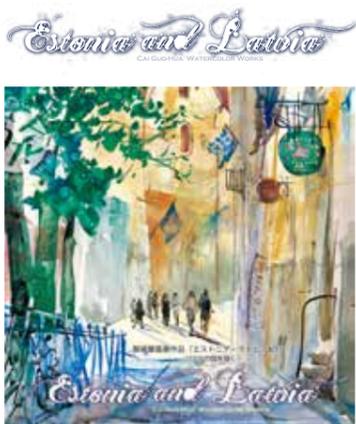
7月7日の七夕の日に、My空間が去年誕生してからちょうど1周年を迎えました。この場所を「わたしの空間」として、バレエ教室をはじめとする教室に通う子どもたち、そのお母さんたちにも親しんで頂ける場になることを目指し、日々活動しています。季節のイベントもそのひとつで、今年の七夕まつりは1周年のお祝いもあわせて行いました。当日は幼稚園から小学生までの子どもたちとお母さんたちが集まり、みんなで「マーブリング」という水の表面に絵の具の膜を作って紙などに着色する手法で短冊を染めました。複雑に絵の具が混じり合い、世界で一つの自分だけの模様の短冊を作ることができます。「もっと作りたい!」とどンドン積

極的になる子どもたちの様子を見て、お母さんたちもとても喜んで下さいました。それぞれの願い事や夢が彩とりどりの短冊に揺れて、素敵なお祝いの1日となりました。楽しそうみなみな姿でも嬉しく幸せな気持ちになり、自身の願い事をするのをすっかり忘れていたことに気づいたのはこの文章を書いている今になってです。なのでここに書かせて頂こうと思います。「子どもたちともっと美術を楽しめますように!」

My空間 小西 由夏 (絵と文)



『エストニア・ラトビア紀行』 蔡國華作品画集完成



画空間ギャラリーにて、8月31日から9月6日(9月2日日曜・休み)、『エストニア・ラトビア紀行』画集完成記念蔡國華作品展』が開催される予定です。

同時に、『エストニア・ラトビア紀行』画集も発売されます。今回で既に5作品目となる毎年ご好評頂いている水彩の風景作品シリーズです。 厳しい夏もそろそろ終わる頃、中世の雰囲気が残る、まるでおとぎ話に出てくるような美しい街並を感じにぜひ展覧会にお越しください。

画空間 豊島 愛

KWS(画空間・My空間) QCDOC初挑戦

KWS(クリロンワークショップ)として初参加のQCDOC。私達は、外部メンバーが集まったKWSがどのような発表ができるのかミーティングを重ね、社外交流窓口としての活動内容や、メンバー自らが運営に関わり工夫しているかを、実際の活動の臨場感を交えて伝えるため、ムービーとアニメーションで内容をまとめました。構成、撮影、イラスト、編集、ナレーション等をメンバーで役割分担し、発表ムービー自体がKWSメンバーの働き方のアウトプットとなっています。

当日、大きなスクリーンの前で行われた各発表はどれも素晴らしく、日々の業務の中でよく話し実行し、結果の検証を次に繋げていく体制が、様々な業務を担う各集団ごともしっかりと体現されていることに大変感銘を受けました。

今回、KWSは審査員賞をいただくことができましたが、クリロン化成の様々な技術と取り組みを体験できたこの機会を、今後の活動に繋げていきたいと思っています。

画空間 豊島 亜貴子

技能オリンピック開催

2018年7月13日、技能オリンピックが岡山事業所で開催され、日々の業務の中で研鑽した技能を各工場ごとに競い合いました。

技能オリンピックは2年に1度開催されますが、皆さん回数を重ねることにスキルアップしており、毎回驚かされます。今回は若手メンバーが中心となり企画・運営を行いました。会場のスペースの問題を考え、新たな試みとして会議室と工場間のライブ中継を実施するなど、さまざまに工夫を凝らしたものとなりました。今回実施した種目は、リングスカート交換、梱包リレー、フィルム断面観察、クリロン化成知識王決定戦の合計4種目です。

優勝は岡山工場で、開催地でもあったことから喜びも大きかったようです。私は実行委員として初めて参加しましたが、本番では大きな問題もなく順調に進み安心しました。次回の技能オリンピックも、社員の工夫を凝らした内容で実施されると思うので、今から非常に楽しみにしています。

大阪製造課 天倉 佳人

梱包リレー中です!



-ゆらめくじかん- そよご(織)・yucca(陶)2人展

7月下旬に、「ゆらめくじかん-そよご(織)・yucca(陶)2人展」が開催されました。染め織り作家青井滋子さんによる手織作品と、陶芸家yuccaこと所由香さんの陶芸作品がよりその魅力ある作品展です。青井さんは、草木染めの植物であるそよご(冬青)を工房名とし活躍中で、ストールや洋服など繊細かつ希少性の高い作品を紹介してくださいました。流麗な染めと織りの世界は自然界の神秘を表現しているようでもありません。所さんの陶芸は温かみのある風合いで、すべてに個性豊かな絵付けが施されています。器の他にアクセサリーやインテリアグッズまで自由な発想で作品を展開してくださいました。 ジャンルの違う二人の作品には、ともに人の手からのみ生み出される生命力と存在感に溢れ、思わず触れたいくなるオーラがあります。それらが、画空間のスペースを存分に使い大胆に展示され、彩り豊かな五日間となりました。

画空間 近 ゆうみ